



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



巻頭言

歯学部長 宮崎 隆

あらゆる領域でグローバルスタンダードが導入され、我が国の医学教育においても国際認証が求められる時代になりました。本学医学部は一般社団法人日本医学教育評価機構の医学教育分野別認証評価を受審し、去る5月29日から6月1日にかけて実地調査を受けました。歯学教育についても分野別認証評価のトライアルが進められています。歯学教育では、世界医学教育連盟のような国際組織は無いのですが、欧米だけでなくアジア諸国においてもグローバル化が進められています。



本学では教員・大学院生の留学、海外渡航、ならびに海外からの留学生、研修生の受け入れを活発に行っています。さらに、学部学生の海外大学における実習・研修を推奨し、奨学金制度を設けています。

私が学部長に就任してから、平成15年12月の大連医科大学との歯学部間協定締結を皮切りに、多くの大学と協定を締結してきました。本年1月にはマダガスカルのマジュンガ大学、3月にはウィーン医科大学と締結し、協定校は17大学になりました。臨床実習の一環として6年次の選択実習の枠内で海外大学での実習を推奨してきましたが、近年、医学部に比べてチャレンジする学生が少ない現状にありました。今年は国際交流担当の桑田教授のご尽力で、今までで最も多い12名の学生が海外実習(米国:南カリフォルニア大学, カナダ:ブリティッシュコロンビア大学, 台湾:台北医科大学, 韓国:キョンヒ大学, インドネシア:トリサクティ大学)に参加しました。参加した学生は各国の歯学教育と歯学生の現状に触れ、大いに刺激を受けて帰国しました。

一方、交流校からの学部学生の受入も積極的に行っています。6月にはタイのチュラロンコン大学の学生を受け入れましたが、今月には台北医科大学、来月以降は香港大学、マハサラスワティ大学(インドネシア)と続きます。臨床の先生には見学プログラムを設定していただき感謝申し上げます。一般的に海外の歯学生は、従来からの保存・補綴系の実習経験は豊富ですが、口腔外科、矯正、小児歯科、障害者歯科、リハビリテーション、病棟口腔ケア等についてはあまり経験がないようで、受け入れた学生は本学の

多様なプログラムに満足しています。

本学が力をいれてきたチーム医療(多職種連携)や周術期口腔ケア、さらにオーラルフレイルへの対応や訪問診療などは、日本が世界に先駆けて進めていますが、これらがグローバルスタンダードになるように、本学から発信していきたいと思っております。多くの学生が国際的視野を身につけて、将来多方面で活躍することを期待しています。

学校法人奨学生採用式が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

去る6月29日(金)1号館5階会議室において、平成30年度学校法人昭和大学奨学金 奨学生採用式が開催されました。本学では学部学生を対象に、独自の奨学金制度を設けています。平成2年に本制度を始めたときは貸与者が14名でしたが、学生への経済的支援を充実させるべく、学校法人の奨学金基金(基本金)への組入れを計画的に行ない、今年度は60名の学生に年間50万円を貸与しました。

1年生の奨学生にはすでに富士吉田校舎で採用式が終了しており、当日は2年生以上54名に対して採用証が授与されました。式典では、小出学長から奨学金を有効に活用して勉学と課外活動に励むようにと激励がありました。小口理事長からは奨学生に対して祝福と将来への期待をこめた挨拶がありました。



小口理事長から各学部の代表者(歯学部代表は、4年生の大塚あゆみさん)に採用証が授与されました。採用生を代表して歯学部4年の山田明佳さんが謝辞を述べ、参加者全員で昭和大学宣言と校歌斉唱をおこない閉会しました。学生が本制度を活用して充実した学生生活を送ることを期待しています。



文科省「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」が「S」評価を受けました

歯学教育学部門 片岡竜太

昭和大学、岩手医科大学、北海道医療大学の3連携大学が、超高齢社会に対応できる歯科医師を養成することを目的として、地域医療教育などを担当する歯科医師会と協働して、超高齢社会で求められる歯科医師像を掲げて、教材開発と授業の実践をしてきました。構築した教育システムは、「一般歯科臨床コース」に「地域連携歯科医療実習コース」と、「医・歯・薬・保健医療学部チーム医療演習コース」を加えたものです。追加したコースにおける学びを充実させる目的で基礎知識とアクティブ・ラーニングを身につけるために、3大学で協働して開発したIT教材を活用した準備教育を行っています。



文科省からの事後評価ではS評価と以下のコメントを受けました。「基礎知識とアクティブ・ラーニングを定着させるため、3大学の連携で開発した「IT教材を活用した準備教育」による教育プログラムを構築したことは高く評価できる。また、eラーニング計画を着実に推進したことが3大学学生交流や3大学共通試験等の実現につながり、教育を提供する側のシステム構築と学生が学び進む学修プロセスとが相互に影響した質保証のシステムを構築したと言える。学生のラーニング・アウトカムの向上について、ポートフォリオのテキスト分析、授業時における計測や振り返り内容、CBTとの関係等、様々なアプローチで具体的に読み解くことが実行されている。本事業の有効性を踏まえつつ、専門職の生涯学習の可能性までを見出し、更なる教育改革の成果・改善へ取り組む姿勢も高く評価できる。他大学やステークホルダーからeラーニング教材の利用や教材の生涯学習に活用できる可能性を示唆されており、成果は着実に波及していると言える。補助期間終了後は、事業の継続に向けて着実に準備されているだけでなく、事業の発展性についても、ステークホルダーとの連携を生かし歯科医の継続教育教材開発に着手しており、更なる発展が期待できる。」

この5年間で、予想以上に求められる医療が変化し、歯科医師には急性期医療、慢性期医療、在宅医療のすべてのステージでチーム医療の一員として患者のために奉仕することが求められています。今年度から新たに朝日大学も本取組に加わり、臨床研修歯科医教育へのIT教材の活用を検討しています。こ

れらの教材は他大学や、歯科医師会会員の生涯学習にも活用できるように、現在も定期的に会議等を開催して事業を継続していくつもりです。

昭和大学学士会例会（歯学部主催）が開催されました

学士会運営委員 真鍋 厚史

梅雨明けの6月30日に第347回学士会例会が挙行され土曜日の診療があるにも関わらず多くの先生や歯科衛生士、歯科技工士の方々が聴講にこられました。



今回の特別講演は日本大学歯学部歯科保存学教室修復学講座教授で歯科病院長でもあられます宮崎真至先生に『歯科接着システムの未来への挑戦：接着耐久性獲得のためのストラテジー』との題名で講演していただきました。現在の歯質接着性をイオン放出解析の研究やフィラーとしてのバイオアクティブガラスの使用等の解説をわかりやすくお話しされました。また接着疲労試験の重要性にも触れられました。さらにコンポジットレジン修復の臨床動画もアップされ非常に興味が湧き明日からの臨床に役立つ内容でした。



その後、上條奨学賞受賞講演として日本獣生命科学大学獣医学部講師で口腔解剖学の兼任講師の大塚裕忠先生、小児成育歯科学講座教授の島田幸恵先生にもご講演いただき改めて骨粗鬆症の概念や歯の萌出障害に対する外科的咬合誘導の臨床有意性を勉強させていただきました。

一般講演の最後では歯科薬理の茶谷昌宏先生が、重力変化がメダカの硬組織に与える影響と題してご講演くださいました。重力とメダカが結びついた研究で非常に面白く拝聴させていただき閉会となりました。次回の学士会はさらなる多くの演題をいただけることを祈っております。

行事予定

広報委員長 中村 雅典

- | | |
|---------|----------------------------|
| 7月22日 | 歯学部オープンキャンパス |
| 8月6-8日 | 昭和大学教育者のためのワークショップ(ビギナーズ) |
| 8月9-10日 | 昭和大学教育者のためのワークショップ(アドバンスド) |
| 8月18日 | 平成30年度秋季大学院入学試験 |

第29回日本老年歯科医学会を開催しました

高齢者歯科学講座 佐藤 裕二

6月22-23日に大井町のきゅりあん(品川区総合区民会館)で、「高齢者の口腔医学」というメインタイトルで大会長をさせていただきました。実行委員長は弘中教授です。日本老年歯科医学会はここ数年、毎年300名ぐらいの会員増がある、「日本歯科医学会専門分會でももっとも活力のある学会」の一つです。1860名の参加者にお越し頂きました。

特別講演、教育講演2つ、シンポジウム11、さらに、課題口演10演題、一般口演52演題、優秀ポスター発表15演題、一般ポスター発表129演題という非常に充実した内容でした。特別講演は「人生の最終章を輝かせる緩和ケア～全人的ケア、死から生といのちを考える～」というタイトルで、高宮有介先生(昭和大学医学部医学教育学教授)にお願いしました。心に響く内容で、今回の大会にふさわしい素晴らしいご講演でした。

昭和大学からご支援を頂き、また、宮崎学部長には3大学交流に基づいたシンポジウム(日本歯科医学教育学会共催)の座長をお願いし、昭和大学の先進的な取り組みをアピールできました。多くの昭和大学歯学部・歯科病院の方々がお手伝いいただき、ありがとうございました。5・6年生の希望学生9名も参加してくれ、大いに刺激を受けたようです。なお、この学術大会の総会で、私が学会理事長(2年任期)を拝命いたしました。新理事長講演(写真:右の座長は櫻井現理事長)では緊張しましたが、思いをぶつけることができました。老年歯科医学の発展のため、また昭和大学の名誉を高めるためにも、さらに精進いたします。どうかよろしくお願ひいたします。



昭和大学富士吉田校舎オープンキャンパスが実施されました

入学支援課 鳥山 ちひろ

平成30年6月24日(日)富士吉田校舎にて受験生を対象とした富士吉田オープンキャンパスが開催されました。当日は寮祭が同時開催されており、4学部併せて195組398名の参加があり、うち歯学部志望の参加者は14組34名でした。参加者は旗の台と横浜キャンパスからバスや直接公共交通機関等で富士吉田に向かい、現地では全体説明会にて、久光富士吉田教育部長からの挨拶と富士吉田教育部大幡教授と学生代表による富士吉田校舎での生活等につい

て講演がなされました。また、教員・学生との個別面談や、食堂での昼食体験、馬場・自然教育園などの施設見学ツアー、そして、1年次に実際に生活する寮の見学も行われ、多くの方が熱心に見学されていました。



また、寮祭にも積極的に参加している風景が見られ、参加者からは“寮生活の良さや4学部合同での授業の魅力が前回参加した時より伝わり、昭和大学に行きたいという気持ちがより高まりました。”、“在学生の声が直接聞け、また寮祭を通じて大学の雰囲気を感じることが出来て良かったです。”との声が寄せられ、大変好評のうちに終了しました。

11月18日(日)にも富士吉田校舎オープンキャンパスを開催します。

第23回夏季スポーツ壮行会が開催されました

歯学部学生部長 上條 竜太郎

第23回夏季スポーツ大会壮行会が7月2日に開催されました。午後5時から昭和大学病院入院棟地下1階臨床講堂で、昭和大学スポーツ運動科学研究所の先生方にご講演いただきました。冒頭、三邊所長の挨拶が行われ、その後、中西亮介先生より「スポーツ現場での医師としての対応」、神原雅典先生より「スポーツ動作における足部・シューズの重要性」のタイトルでご講演され、引き続き午後6時から50年記念館で、壮行会が開催されました。

小出学長が告辞を述べ、挨拶は4学部を代表して宮崎歯学部長、與儀父兄会長がそれぞれ行いました。医学部同窓会学内支部長である末木教授(皮膚科学)から、体連5クラブ、文連1クラブに部活動奨励助成金が授与されました。剣道部の佐々木 信英君(M4)による選手宣誓に続いて、グリークラブによる校歌斉唱をもって終了致しました。

懇親会ではまず、応援指導部による迫力あるエールが会場内に響き渡り、上條学生部長の乾杯により会が始まりました。大会での健闘を誓う各クラブの学生の活気で会場内が満ちあふれる中、午後7時に宮川保健医療学部学生部長による挨拶の後、閉会となりました。今年の夏は全国的に平年より気温が高くなる予想ですが、学生が体調管理のもと、大会本番では、最大限の力を発揮できるよう、活躍を期待しています。



国試分析・卒業試験問題作成ワークショップが開催されました

D6チューター会議 船津 敬弘

国試分析・卒業試験問題作成ワークショップが5月26日と6月10日の両日に開催されました。歯学部の講座・部門の全ての教授および卒業試験問題をまとめているブラッシュアップ担当の先生を中心として、総勢56名の先生方にご参加いただきました。



午前は各講座・部門からの国家試験問題の分析に続き、作問のポイントに関する講義が井上富雄教授からは必修問題、馬場一美教授から臨床実地問題について行われ、皆真剣に聞き入るとともに、日頃疑問に思っている点について活発な質疑応答が行われました。

午後は鈴木規元ブラッシュアップ委員長の主導でグループワークとして、事前に作問提出いただいた問題のブラッシュアップと発表でした。こちらでも内容や作問のねらいなどを中心に非常に活発な討議がされ、盛会のうちに修了となりました。

第111回歯科医師国家試験結果の反省を踏まえ、教員が一致団結して卒業試験を中心とした第6学年の教育について再考する貴重な機会になったと感じております。

卒業試験での良問作成、ひいては次年度の国家試験合格率の上昇につながることを期待してやみません。

平成30年度秋季・平成31年度春季大学院募集要項について

大学院研究科長 高見 正道

7月11日(水)17時30分より、歯科病院において大学院説明会が開催されました。

研修医6名、6年生16名、5年生9名、他大学研修医1名の合計32名でした。

参加者には、大学院案内と入学試験要項、および各講座・部門紹介の冊子が配られ、大学院入試に関する説明の後、各講座・部門からおいでいただいた先生方のお話熱心に耳を傾けていました。

今後の説明会および大学院入試の日程は、下表の通りです。

多くの大学院希望者の参加をお待ちしております。

大学院入試日程(歯学研究科)

| 入試日程 | 秋季 (平成30年10月 入学) | 春季Ⅰ期 (平成31年4月 入学) | 春季Ⅱ期 (平成31年4月 入学) |
|------|-------------------------------------|--|------------------------------------|
| 願書受付 | 7月17日(火) ～ 8月8日(水) 13:00まで | 10月22日(月) ～ 11月16日(金) 13:00まで | 1月8日(火) ～ 2月1日(金) 13:00まで |
| 試験 | 8月18日(土) | 12月1日(土) | 2月16日(土) |
| 合格発表 | 9月13日(木) 16:00 | 12月20日(木) 16:00 | 3月7日(木) 16:00 |
| 入学辞退 | 9月27日(木) 17:00まで | 3月29日(金) 17:00まで | 3月29日(金) 17:00まで |

大学院歯学研究科説明会・日程スケジュール

| 日程 | 対象者 | 場所 | スケジュール 【各回共通】 |
|---------------------------------|------------------------------|-------------------------|--|
| 【第2回】 8月29日 (水) 17:30～ | 春季入学 希望者・ 臨床研修医・ 学生 | 歯科病院 1号棟6階 第2臨床講堂 | 1) 大学院歯学研究科概要・ 入試要項につ いて 2) 専攻科目・ 研究内容紹介 |
| 【第3回】 11月7日 (水) 17:30～ | | | |

<大学院歯学研究科運営委員会主催の説明会>

●大学院説明会は事前申し込みです。

希望者はホームページからお申し込みください。

URL:http://www.showa-u.ac.jp/grad/dent/news/2018/20180524_000.html

認定医の取得

広報委員長 中村 雅典

日本歯科保存学会歯科保存治療専門医
小出 容子 (歯周病学講座)

昇任・採用

広報委員長 中村 雅典

講師

杉山 智美 (小児成育歯科学講座)

助教

川島 翼 (小児成育歯科学講座)

編集後記 小児成育歯科学講座 新田 雅一

この夏は40度近い猛暑に加え、平成30年7月豪雨ではたくさんの方が犠牲になりました。亡くなった方々へのご冥福をお祈り申し上げます。

最後ではありますが、大変お忙しい中、ご寄稿と編集に御協力くださいました皆様に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。